

### 県内取組事例

事業者：株式会社ラディッシュ（所在地）宮崎市中心通1-1  
 資本金：¥6,000,000業種：食品製造販売 従業員数：80

### 事業名：ネットで注文事業

アプリ

ネット決済



## ホームページから弁当の閲覧、注文、決済までを手軽で簡単に

### 【概要】

#### 【注文業務のDX化】

紙や電話で行っている注文業務をネットで行えるように改善し事務作業負担の軽減を図る。集計作業にかけていた時間も削減する。

#### 【決済機能】

現在は事前に来店での支払いが必要であり、非対面での注文完結が出来ない。ネット上で事前決済をしてもらうことで業務改善、効率化にもつながる。

#### 【タブレットで全スタッフが情報を共有】

受発注担当者と調理担当者が同一データをクラウドで共有することで、業務改善を行う。

### 【事業の目標】

1. 予約注文業務の自動化により、事務負担の軽減と売上向上(24時間受注)。
2. クラウドでデータを全社共有、伝達業務が削減され生産性の向上、社内コミュニケーションの改善。

### 【取組を行う背景】

- ・コロナ禍以前から需要が高かったケータリング事業であるが、受注は毎回電話か来店いただいたの聞き取り受注だったので聞き取りミスや伝達ミス、受注するスタッフの練度の差がありお客様にご迷惑をおかけすることがあった。
- ・営業時間内にしか受注できないためお店が閉店してからの需要には応えることが出来ず、チャンスロスが発生していた。
- ・受注表を関係部門に回す際、受注するたび事務員さんが作業部屋やレジに添付して回っていたので相当な負担になっていた。
- ・情報が紙ベースだったので確認が会社でしか出来ず突発的な受注には答えられないことがあった。

### 【効果（成果）】

- ・効果①予想外に夜間の受注が多く新規開拓のお客様が増えた
- ・効果②タブレットやスマートフォンを介して誰でも最新データにアクセス可能となり、現場に確認せずとも受注状況がわかるようになったので受注許容量が広がった。
- ・効果③転記ミスが起こらなくなった。
- ・効果④タブレットで一元管理できるので紙がだいぶ少なくなってきた。

### 【本事業終了後の展開・展望】

- ・紙を使った受発注は3年以内には廃止
- ・ケータリング受注は今年度中にネットを介する受注に集約する。
- ・今年度は発注業務をIT化して経理と現場の負担を削減する
- ・温度管理をDX化して美味しく食べられる温度でお客様に提供できるようにする。



**Point** ~ここがポイント~  
 これまで電話やレジ窓口で行っていた注文業務をネットで24時間対応にし、業務を改善。おせちなどの大量注文も自動集計。  
 またクラウド上のデータをタブレットを利用して全店（レジ、調理）で共有。リアルタイムに注文状況が把握できるので仕入れ、製造体制の効率アップに！

